

がん化学療法指示書

登録番号 242

作成日 2019/4/10

レジメン名	CBDCA+nab-PTX+Pembrolizumab
診療科・対象疾患	(呼)扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	200mg/body	Day1
アブラキサン	アルブミン懸濁型パクリタキセル	100mg/m ²	Day1,8,15
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5(max6)	Day1

治療内容	注	滴下順	抗がん剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール						
								day1	day8	day15	day21			
治療内容	注			生理食塩液	100mL	任意	メインルート確保用	●						
				Rp2	パロノセトロン(0.75mg) デキサート(6.6mg) ファモチジン(20mg)	1袋 1瓶 1本	15分	点滴静注メイン	●					
				Rp3	癌 キイトルーダ(ペムブロリズマブ) 生理食塩液	200mg 100mL	30分	点滴静注メイン	●					
				Rp4	生理食塩液	250mL	120分※1	点滴静注メイン	●					
				Rp5	生理食塩液	100mL	任意	側管ルート確保・フラッシュ用	●					
				Rp6	癌 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル) 生理食塩液 生理食塩液は溶解に必要な量のみ使用する	100mg/m ² 100mL	30分	点滴静注側管※2 ※フィルターより下側の三方活栓から投与する	●					
				Rp7	生理食塩液	50mL	10分	点滴静注側管	●					
				Rp8	癌 生理食塩液 カルボプラチン	250mL AUC5(max6)	60分	点滴静注側管	●					
		その他必要薬剤				・アプレピタント(125mg):1cap分1 ルートキープ時に内服(day1) ・アプレピタント(80mg):1cap分1 朝食後に内服(day2,3)								
		総投与時間				Day1総投与時間:3時間 Day8,15総投与時間:1時間								
血管外漏出リスク				キイトルーダ(ペムブロリズマブ):非壊死性抗がん剤 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル):壊死性抗がん剤 カルボプラチン:炎症性抗がん剤										
投与時の注意事項				アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)は特定生物由来製剤(人血清アルブミン含有)であり特定生物由来製剤使用同意書が必要 キイトルーダ(ペムブロリズマブ)はフィルター付きルートが必要 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)はフィルター付きルートが使用不可 【投与方法の注意点】 Day1 メインルートからキイトルーダ(ペムブロリズマブ)をフィルター付きルートで投与 ※1:次の(Rp 4)生理食塩液250mlは2時間の速度でメインルートから投与を開始し、15分間経過した時点で 次の(Rp 5)生理食塩液100mlをフィルターより下側の側管ルートから(フィルターを過ぎない)ルート確保用として接続 ※2:次の(Rp 6)アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)は側管ルートから投与 メインルートの生理食塩液250mlと側管ルートのアブラキサン、カルボプラチンは同時に投与しながら終了する										
備考欄				Infusion Reaction Grade2の場合、キイトルーダ(ペムブロリズマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠										